

市民総ぐるみ 防災訓練



とき **8月29日** 日 午前9時～
ところ 港町地内 竹島ふ頭
(生命の海科学館南)

内容

■市民による訓練

応急手当、土のう作成、倒壊家屋からの救出、食料の炊き出し訓練など

■展示および相談コーナー

AED・住宅用火災警報器・阪神淡路大震災記録写真の展示、住宅耐震診断相談など

■体験コーナー

非常時用簡易ランプの作製、煙道体験

この他にも、自衛隊、海上保安署、警察署、消防署、消防団などの防災機関が、それぞれの特徴を生かした訓練を行います。

■非常持出品の用意

食料関係(飲料水・乾パン・缶詰など)、救急薬品、衣類(下着・タオルなど)、貴重品(現金・通帳など)、日用品など

■避難場所、避難経路の確認

蒲郡市ハザードマップで確認し、実際に避難場所まで歩いてみましょう。

■家具の転倒・落下の防止

倒れた家具によってケガを負ったり逃げ遅れたりしてしまいます。

■地域の人たちとの交流

いざという時に頼りになるのは、隣近所の皆さんの力です。日ごろから地域のコミュニケーションを大切にしておきましょう。

■災害発生時の状況と行動を想定してみる

災害発生時を想像し、考えることで防災意識を高めるとともに、いざというときに迅速に動けるようにしましょう。

■災害状況イメージトレーニング

ツール「目黒巻」

東京大学の目黒公郎教授が考案した「目黒巻」がホームページからダウンロードできます。

<http://risk-mg.iis.u-tokyo.ac.jp/megurumaki/megurumaki.html>

■NTT災害伝言ダイヤル

災害時は一般の電話がつかいにくくなります。安否の確認などには、NTTの災害伝言ダイヤル「171」を活用しましょう。

毎月1日および防災週間(8月30日～9月5日)には体験利用もできます。

■安心ひろめーる

各種緊急情報をメールで配信するサービスを行っています。

・ 火災、防災情報(気象情報)

・ 不審者、犯罪情報

・ 同報無線放送情報

小学校の一部では、不審者情報の伝達手段として活用されるなど、広がりを見せています。ぜひ、この機会に登録しましょう。

【登録方法】

市モバイルサイトの「配信者登録」から登録できます。

<http://gg.city.ganagori.aichi.jp>



市の各種援助制度

市では、防災対策に対して、次のような各種援助制度を実施しています。

■家具転倒防止器具設置事業

高齢者(70歳以上)や障がい者世帯など、自分たちで家具を固定できない世帯を対象に無償で4点まで家具転倒防止器具を設置します。

■ブロック塀撤去補助事業

ブロック塀を撤去した経費に対して補助をします。補助額は、撤去にかかる費用の1/2(最高10万円)です。

■住宅の耐震診断・耐震改修

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、無料耐震診断や耐震改修の補助(最高60万円)をします。また、耐震シェルターの補助制度や、非木造住宅の耐震診断補助も開始しました。詳しくは、建築住宅課(☎66・1132)へ。

備えあれば憂いなし

地震に限らず、災害はいつ発生するかわかりません。本当に突然、明日にでも起こるかもしれません。

災害で一番大切なことは命を守ることです。自分の命を守り、家族や大切な人たちの命を守るためにも、普段から防災に対する意識を持ち、災害に対する備えや地域との関係を大切にし、いつ訪れるかわからない「いざ」というときに対応できるようにしましょう。